

管内視察報告

総務常任委員会

委員長 谷口 充希子

6月27日に管内視察調査を11カ所行ったので主なものについて報告します。

◇神岡町東・山田生涯学習館

耐震改修しなければならぬ建物で不特定多数の人が利用する施設は安全性を最優先に考えて、取り壊して必要な規模に見合った施設を作る必要があるのではないかと「なかよしキッズ」の利用と「障がいのある人を支える会」の要望に対しては全体構想を作り順次整えることが必要。また両学習館の民具については寄付者の意向も確認しながらデータ化し、必要、不必要を整理し売却も含め整理されたい。

◇坂巻公園野球場

新設されるトイレの現地確認とグラウンドを見た。照明灯が老朽化して落下の危険性があるとの意見で早急に修繕対策が必要である。

◇宮川防災備蓄倉庫

備蓄数量について対象人口

の30%で3食分では少なすぎるので各家庭に備蓄3日分を常時確保するよう広報する必要がある。

◇和光園

入園者数減少傾向にあり指定管理料について協議変更していく必要がある。県内・他市で同様の施設についてどのような動きがあるか調査すべき。

◇飛騨地鶏牧場

障がい者雇用までにはまだ時間がかかるようであり、今後も施設整備等を含めて支援していく方向と考える。



飛騨地鶏牧場

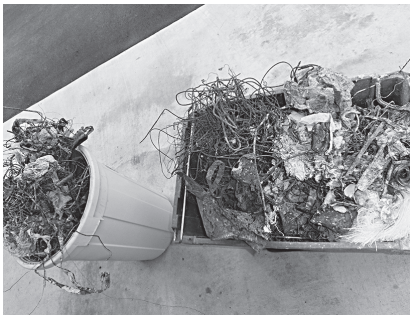
産業常任委員会

委員長 高原 邦子

6月28日に委員全員参加で、平成25年度の産業常任委員会管内視察調査を行いました。昼食先も加えると14か所

になりました。飛騨市は面積が広く、視察箇所も一部分にすぎません。実際に現場を見るということは、とても有意義でありました。「百聞は一見に如かず」の諺を委員皆が実感しました。机上の議論だけでは本当の市政の問題が見えてきません。実りある視察であったと思います。

○新しく稼働し始めたクリンセンターでは可燃ごみの中に針金状の金属片等が混入しており、故障の原因にもなり非常に困っているとのことでした。みなさん！金属類は可燃ごみには入れないようにしてください。



焼却灰から出た金属類

○宮川焼却場の解体計画の現況では、旧宮川村時代から使用停止されている施設です

が、ダイオキシン対策等を施すと多額の金額を要する説明に、合併10年が経た今日でも、旧町村の積み残しの仕事があることを、改めて認識しました。

○市有林整備事業では林建協同事業がなかなか上手く機能していない旨の説明に、問題点の解決策をこれから考えていかなければなりません。

○河合牧場の運営状況では、牛舎独特の臭いが無いのに一同、感心しました。施設は手狭な感が否めず、国・県等の補助事業があれば、ゆったりとし運営も発展するのではないかと思われました。



河合牧場

○かじか養殖の現況は、成魚になるのは稚魚の10分の1ということで、大量生産は難しいことを知りました。

○松ヶ丘公園斎場の躯体は老朽化していますが、二つの炉は更新してはいますがまだ使用可能です。将来の在り方は検討課題とのことでした。

○石神用水路を利用しての小水力発電調査箇所の現況は、初期投資の回収年数は国・県の補助事業を利用すれば2・3年であり、多いに期待される事業でした。



全国市議会議長会 表彰受賞

5月23日開催の第88回定期総会で長年の議員活動が認められ

・10年以上市議会議員の職にあるものとして

天木 幸男氏
が表彰されました。

